

産業廃棄物処理計画書

2023年5月29日

新潟市長様

提出者

住所 新潟県新潟市西区山田3360番地

氏名 エコリテック株式会社
代表取締役 長谷川 英郁

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

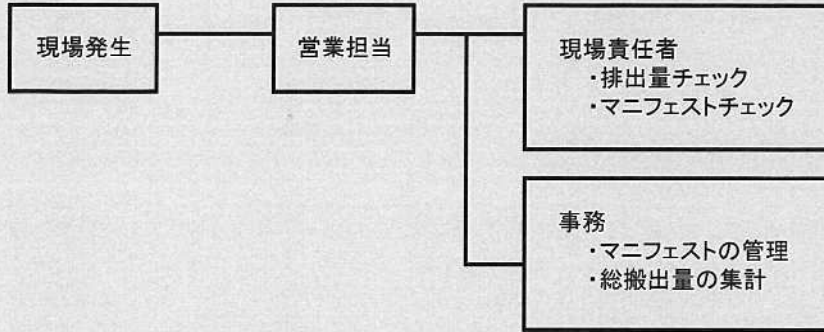
電話番号 025-201-6878

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	新潟市管轄内事業場
事業場の所在地	新潟市管轄区地域
計画期間	令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	07 種別工事業 (設備工事業を除く)
②事業の規模	資本金300万円
③従業員数	20名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>解体工事現場 → 分別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がれき類 再生処理業者へ委託 → 再生砕石として再資源化 ・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 処理業者へ委託 → 破碎後、埋立処理 再生処理業者へ委託 → 瓦チップとして再利用 ・木くず 再生処理業者へ委託 → 木材チップとして再資源化 ・金属くず 鉄・非鉄に分別して処理業者へ委託 → 電炉メーカーへ売却 ・紙くず 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化 ・廃石膏ボード 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化 ・廃プラスチック類 処理業者へ委託 → 破碎後、埋立 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化 ・廃タイヤ 処理業者へ委託 → 破碎後、燃料として売却 ・繊維くず 処理業者へ委託 → 原料として再資源化もしくは焼却後、埋立 ・管理型混合廃棄物 現場で可能な限り分別し、処理業者へ委託 → ・石綿含有廃棄物 処理業者でも選別をかけて可能な限り再生できるものに分ける ・蛍光管 処理業者でも選別をかけても分けられなかったものは、最終処分業者への埋立処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（4年度）実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	紙くず	石膏ボード	廃プラスチック類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	繊維くず	
	排出量	2,385.37 t	1,095.22 t	6.49 t	1.28 t	165.87 t	96.47 t	408.48 t	1.42 t	
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物	廃タイヤ	蛍光管					
	排出量	76.31 t	58.03 t	0.56 t	0.98 t					
(これまでに実施した取組)										
分別解体し収集する。再生利用業者へ委託する事を強化する。										
【目標】										
② 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	紙くず	石膏ボード	廃プラスチック類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器	繊維くず	
	排出量	2,385.00 t	1,095.00 t	6.00 t	1.00 t	165.00 t	96.00 t	408.00 t	1.40 t	
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物	廃タイヤ	蛍光管					
	排出量	76.00 t	58.00 t	0.50 t	0.90 t					
(今後実施する予定の計画)										
上記実施の強化										

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)									
	解体作業に際し、分別解体をする。									
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)									
	上記実施の強化									

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（4年度）実績】 ※該当なし									
① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	紙くず	石膏ボード*	廃プラスチック類	ガラス・セラミックス・コンクリートくず 及び陶磁器	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物	廃タイヤ	蛍光管				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】 ※該当なし									
② 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	紙くず	石膏ボード*	廃プラスチック類	ガラス・セラミックス・コンクリートくず 及び陶磁器	繊維くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物	廃タイヤ	蛍光管				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（4年度）実績】 ※該当なし									
① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	紙くず	石膏ボード*	廃プラスチック類	ガラス・セラミックス・コンクリートくず 及び陶磁器	繊維くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物	廃タイヤ	蛍光管				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
【目標】 ※該当なし									
② 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	紙くず	石膏ボード*	廃プラスチック類	ガラス・セラミックス・コンクリートくず 及び陶磁器	繊維くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物	廃タイヤ	蛍光管				
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（4年度）実績】 ※該当なし									
① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	紙くず	石膏ボード	廃プラスチック類	ガラス・コンクリートくず 及び陶磁器	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物	廃タイヤ	蛍光管				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】 ※該当なし									
② 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	紙くず	石膏ボード	廃プラスチック類	ガラス・コンクリートくず 及び陶磁器	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物	廃タイヤ	蛍光管				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（4年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	紙くず	石膏ボード	廃プラスチック類	ガラス・コンクリートくず 及び陶磁器	繊維くず
	全処理委託量	2,385.37 t	1,095.22 t	6.49 t	1.28 t	165.87 t	96.47 t	408.48 t	1.42 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.52 t	500.08 t	6.49 t	1.28 t	165.87 t	4.31 t	378.56 t	1.42 t
	再生利用業者への処理委託量	2,385.37 t	1,095.22 t	6.49 t	1.28 t	21.32 t	59.36 t	260.42 t	1.42 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物	廃タイヤ	蛍光管				
	全処理委託量	76.31 t	58.03 t	0.56 t	0.98 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	76.31 t	8.03 t	t	0.98 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	0.56 t	0.98 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
再生利用が可能な廃棄物は、出来る限り再生利用業者を選定し、処理委託をした。									

【目標】										
① 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	紙くず	石膏ボード	廃プラスチック類	ガラス、セラミックス、コンクリートくず及び陶磁器	繊維くず	
	全処理委託量	2,385.00 t	1,095.00 t	6.00 t	1.00 t	165.00 t	96.00 t	408.00 t	1.40 t	
	優良認定処理業者への処理委託量		500.00 t	6.00 t	1.00 t	165.00 t	4.00 t	378.00 t	1.40 t	
	再生利用業者への処理委託量	2,385.00 t	1,095.00 t	6.00 t	1.00 t	21.00 t	59.00 t	260.00 t	1.40 t	
	認定熱回収業者への処理委託量									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有廃棄物	廃タイヤ	蛍光管					
全処理委託量	76.00 t	58.00 t	0.50 t	0.90 t						
優良認定処理業者への処理委託量	76.00 t	8.00 t		0.90 t						
再生利用業者への処理委託量			0.50 t	0.90 t						
認定熱回収業者への処理委託量										
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										
(今後実施する予定の取組)										
<p>実施事項の強化。再生可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理委託する。 可能な限り、優良認定処理業者から委託先を選定する。</p>										
※事務処理欄										

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	ニロリテック株式会社	提出者の住所	新潟県新潟市西区山田3360番地
事業場の名称	新潟市管轄内事業場	事業場の所在地	新潟市管轄区地域
内容年度	平成 5 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 / 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
がれき類	現状	2,385.37					2,385.37	3.52	2,385.37		
	計画	2,385.00					2,385.00		2,385.00		
木くず	現状	1,095.22					1,095.22	500.08	1,095.22		
	計画	1,095.00					1,095.00	500.00	1,095.00		
金属くず	現状	6.49					6.49	6.49	6.49		
	計画	6.00					6.00	6.00	6.00		
紙くず	現状	1.28					1.28	1.28	1.28		
	計画	1.00					1.00	1.00	1.00		
石膏ボード	現状	165.87					165.87	165.87	21.32		
	計画	165.00					165.00	165.00	21.00		
廃プラスチック類	現状	96.47					96.47	4.31	59.36		
	計画	96.00					96.00	4.00	59.00		
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	現状	408.48					408.48	378.56	260.42		
	計画	408.00					408.00	378.00	260.00		
繊維くず	現状	1.42					1.42	1.42	1.42		
	計画	1.40					1.40	1.40	1.40		
管理型混合廃棄物	現状	76.31					76.31	76.31			
	計画	76.00					76.00	76.00			
石綿含有廃棄物	現状	58.03					58.03	8.03			
	計画	58.00					58.00	8.00			
廃タイヤ	現状	0.56					0.56		0.56		
	計画	0.50					0.50		0.50		
蛍光管	現状	0.98					0.98	0.98	0.98		
	計画	0.90					0.90	0.90	0.90		
合計	現状	4,296.48					4,296.48	1,146.85	3,832.42		
	計画	4,292.80					4,292.80	1,140.30	3,829.80		